

なびあ

NAGASAKI INTERNATIONAL ASSOCIATION

VOL 104

2019.9



「長崎県外国人相談窓口」を開設しました(出島交流会館1F)

Contents

- 協会からの紹介
 - ・「長崎県外国人相談窓口」開設…………… 2
- 事業報告
 - ・「学ぼう！遊ぼう！世界体験旅行！」…………… 3
 - ・「第11回～語り合おうin Nagasaki～外国人による日本語弁論大会」…………… 4～5
 - ・「2019釜山グローバルギャザリング」…………… 6
- 募集案内
 - ・「第21回ながさき国際協力・交流フェスティバル」当日ボランティア募集…………… 6
- 世界でキラリ☆JICA海外協力隊
 - ・Malo！Samoa！素朴で優しいサモアの人々との2年間…………… 7
- 協会からのお知らせ
 - ・協会から助成についてのお知らせ…………… 8
 - ・賛助会員の募集…………… 8
 - ・業務支援ボランティア募集…………… 8

協会公式「facebook ページ」でさまざまな情報を発信しています！

いいね！& フォローをお願いします♪



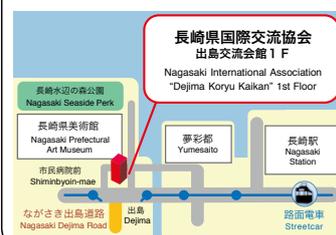
私たちは賛助会員として協会を応援しています

安達株式会社	長崎空港ビルディング株式会社
ヤナセ産業株式会社	扇精光ホールディングス株式会社



公益財団法人 長崎県国際交流協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931
095-823-3929
FAX 095-822-1551
Eメール nia@nia.or.jp
HP <https://www.nia.or.jp/>
FB <https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>

協会からの紹介

「長崎県外国人相談窓口」を開設しました！

長崎県にお住まいの外国人の皆様が、地域で安心して安全に生活できるように、在留資格、仕事、生活などで困っていることを電話や面談・メールで相談できます。



医療保険、年金について相談したい



妊娠、出産、子育てについて相談したい



在留資格について知りたい



日本語を勉強したいけど、教室はありますか？



★開設時間：月曜日～土曜日 9:00～17:00
(日・祝日、12/29～1/3は休み)

★場 所：長崎市出島町2-11 出島交流会館1F（長崎県国際交流協会内）

★相談体制：相談員2名（英語、ベトナム語）が電話や面談・メールにより相談に応じます。
相談員が対応できない言語は、携帯型の翻訳機や民間の多言語電話通訳サービスを介して、多言語に対応します。

★対応言語：英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・インドネシア語・タイ語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語をはじめ、18言語に対応しています。

★電 話：095-820-3377

★E-mail：soudan@nia.or.jp

★相 談 料：無料

★専門相談会：毎月第4土曜日（13:30～16:30）※予約制です。

★出張相談：電話や窓口での相談受付のほか、県内各地へのお出張相談も行います。
日程については、決定次第お知らせします。



事業報告

学ぼう！遊ぼう！世界体験旅行！

2019年8月1日開催
(於：出島交流会館3F)

今年もたくさんの子供たちが参加したこの青少年国際理解講座は、県内の国際交流員や在住外国人の皆さんに自国の文化や遊び、言語などを紹介していただくものです。今回は、オーストラリア、中国、エジプト、ベトナム、インドの方々が講師となり、子供たちに楽しんでもらおうと、さまざまな工夫を凝らしたブースが会場に並びました。子供たちは手作りのパスポートを持って様々な異文化に出会い、楽しく学んでいました！



◆オーストラリアブース



オーストラリアの建物と動物のカルタをしました。



◆中国ブース



中国語の数の数え方や曜日について学びました。



◆エジプトブース



エジプトの伝統的な衣装や遊びについて学びました。



◆インドブース



インドの色々なスパイスやお金について勉強しました。



参加者のみなさん

◆ベトナムブース



ベトナムの伝統的な遊びなどを体験しました。



いろんな国の遊びなど体験して、楽しかったです。今度は、他の遊びやその国の言葉、有名なものについて学びたいです。



みんなの感想

事業報告

第11回 ~語り台おうin Nagasaki~ 外国人による日本語弁論大会

日時：2019年6月15日(土) 13:30～16:00

場所：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジ (B2F)

大会には、予選審査を通過した12名の長崎在住外国人が出場し、日常生活で感じた文化の違いや国際交流の大切さについて、日本語で堂々としたスピーチを披露しました。私たちが普段気付けない視点での話しも多く、自らを見つめ直す貴重な機会になりました。



最優秀賞

「あなたはアメリカ人ですか」

パウケ マチルダ エマニュエル
PAUQUET MATHILDE EMMANUELLE (活水女子大学)



「あなたはアメリカ人ですか」日本人に初めてこういう質問をされたのは、6年ぐらい前のことでした。それは、私の最初の日本旅行の時でした。この時、初めての日本に一人で来ていたので、この旅行は私にとって、とても印象に残る旅でした。日本とフランスは言葉も文化も違うので、カルチャーショックがぜったいあるということは分かっていました。しかし、思ったより私の心は混乱しました。

最初にこの質問を聞いたとき面白いと思って、笑ってしまいました。このとき、私は日本語があまり話せませんでした。ですから、ホテルやレストランなどで、よく英語を使いました。

「あなたはアメリカ人ですか」この質問は3週間の旅行の間に50回ぐらいされました。道であった人や会社員だけでなく、若者にさえ聞かれました。何回も聞かれるうちに、「日本人にとってアメリカ以外の国は知らないのか？日本人は海外の国のどんなことを知っているのか？」と思うようになりました。怒っているというより、がっかりでした。

私は日本語が大好きです。日本についてもっと知りたいです。日本の文化にも興味があります。ですから、日本へ来ました。しかし、日本人にとって、私やフランスの文化のことはどうでもいいことだということに気がつきました。「日本では、アメリカだけに興味があるみたいですね。私は本当にこんな国に就職したいですか。」「本当に住みたいですか。」そんな疑問を持つようになりました。

この旅行の3年後、私は、3ヶ月間札幌に住んでいました。そして、札幌でも以前の旅行の時と同じように「あなたはアメリカ人ですか」という質問を何回も何回もされました。しばらくして、この質問はしょうがないことだと思うようになり、だんだん慣れてきました。

その後、もう一度フランスへ帰って、その2年後に日本の長崎に来ました。しかし、今回は私も年をとり、考え方が変わり、以前よりも成長しました。そして、今回は短い期間ではなく、一年以上長く日本に住むつもりでした。ですから、今回、誰かに「あなたはアメリカ人ですか」と聞かれたら「いいえ、私はフランス人です。フランスのこと、何か知っていますか。実はね、フランスでは、挨拶をするとき、ほっぺにキスをするんですよ。面白いでしょう！」こういうふうにご返答して、その人にフランスのおもしろいところや楽しいことをたくさん話します。そうすることで、いつか、その人が海外に関心を持って、行きたいと思うようになったら、それは私にとって最大の成功になります。

初めて日本に来た時から今までに触れた日本と出会った日本人のおかげで、大切なことを教えてもらいました。「どの国の人であろうと、知らないことがもちろんたくさんあります。ですから、私が知っていることを、それを知らない人に教えるのは私の責任だ」と思います。これを何回も何回も続けていくと、人と人との間にきずなができ、人間関係がもっと広くなると思います。」(原文を掲載しています。)

事業報告



第2位

「文化が違うから仕方がない」

カ ケイテイ
何 景庭 (長崎外国語大学)

皆様は、「国際交流」という言葉から何をイメージしますか。

「異文化理解」でしょうか。「相手の文化・習慣を受け入れる力」、つまり「包容力」でしょうか。確かに、自分の国と違う他国の文化や習慣を理解し、受け入れることは、大変重要だと思います。ですが、こうした言葉は、ときどき、勘違いされているようにも思えます。

ある日、日本人の友達の中島さんと教室に入ると、机に足を乗せて休憩している学生がいました。それを見て皆様はどう思いますか。私は「とても失礼だなあ」と思いましたが、念のため中島さんに尋ねてみました。「あの人、机に足を乗せて大丈夫かな」。すると中島さんは苦笑いを浮かべて、「ちょっと失礼だね」と答えました。「やっぱり失礼なのか」と思い、私がその学生に注意しようとしたその時です。中島さんはパッと私の手を掴み、「待って、あの人、アメリカ人のマイクさんかもしれないよ。アメリカでは、机に足を乗せる習慣があるみたいだよ」と言って、私を止めたのです。そして、こう付け加えました。「文化が違うから、仕方がないよ」。

「文化が違うから、仕方がない」。私は、この言葉に大きな違和感を抱きました。中島さんだけではありません。日本では、多くの方が、呪文を唱えるように、こう言います。「文化が違うから、仕方がない」「文化が違うから、仕方がない」と。その度に、「仕方がない」でいいのかなど私は思っていました。心の中で「失礼な行為だ」と思いながらも、それを「文化の違い」という簡単な言葉を使って、自分を納得させる。これは、自分に嘘をつくだけでなく、相手にも嘘をつく、とっても失礼なことで、「異文化理解」や「包容力」とは、どうしても思えないのです。他国の文化や習慣を本当に尊重し、理解し、受け入れたいなら、「文化が違うから、仕方がない」で済まらず、相手に文化の違いをはっきり伝え、面と向かって話し合うべきではないでしょうか。その結果、相手が納得し、自分の習慣を変えるかもしれません。もしかしたら、喧嘩になることもあるでしょうし、「日本の習慣は面倒くさい」と思われることもあるでしょう。ですが、いずれにしても、こうしたことは、私たちが自国と他国の文化の違いに気づく、本当に、本当に、大切な瞬間ではないでしょうか。

先ほどのアメリカ人ですが、私が注意すると、幸いにも、自分の習慣を改めてくれました。そして、中島さんと3人で、アメリカ、中国、そして日本のことについて話し合い、楽しいひと時を過ごすことができました。

「文化が違うから、仕方がない」。いいえ、そうではありません。

「文化が違う。だから、面と向かって話し合おう」。

「文化の違い」という言葉に逃げない、本当の国際交流は、まさにここから始まるのです。(原文を掲載しています。)

第3位

「仲良くなろう！開店ガラガラ」

ジャクソン エイデン
JACKSON AIDAN
(長崎市教育委員会)

未来賞 (高校生が選ぶ特別賞)

「人参の皆さんへ」

ロドリゲズ キャサリン マリー
RODRIGUEZ KATHERINE MARIE
(波佐見町教育委員会)

館長賞 (平和祈念館長が選ぶ特別賞)

「ココロミルから始めましょう！」

デュン ミー ニイ
DUONG MY NHI
(アイランド ナガサキ)

事業報告

2019釜山グローバルギャザリング (2019年5月19日(日))

韓国釜山広域市で開催され、およそ40ヶ国の約120機関が参加した「2019釜山グローバルギャザリング」に舞踊集団 百花繚乱（諫早市）が出演しました。このイベントは、2006年から毎年国際交流・国際理解を目的に開催されており、今年も世界の料理や民族衣装・文化体験ブースなどが数多く並び、海外姉妹友好都市の公演などが披露されました。当日は、あいにくのお天気でしたが、百花繚乱の皆さんは、雨も吹き飛ばすくらい明るく元気な演舞を披露し、世界各国の方々に大人気！大きな声援や拍手が沸き起こっていました♪



百花繚乱さんの皆さん (*^^)v



鮮やかな衣装とダイナミックな演技で観客を魅了



募集案内

「第21回ながさき国際協力・交流フェスティバル」当日ボランティア募集

日時：2019年10月27日(日) 11:00～16:00

会場：長崎県庁エントランスホール・協働エリア・大会議室・屋外スペース（長崎市尾上町3-1）

※昨年と会場が違いますので、ご注意ください。



お手伝いしてくださるボランティアを募集しています。
外国人の方も、日本人の方もどなたでも大歓迎です！
興味のある方は、ホームページをチェックしてください。

【HP】 <https://www.nia.or.jp>



日本文化を体験しよう！



外国の食事を味わおう！



Let's 外国 Go !

世界でキラリ★JICA海外協力隊



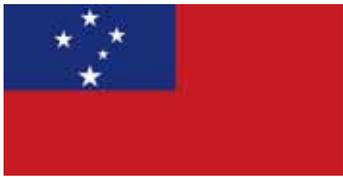
Malo! Samoa!

素朴で優しいサモアの人々との2年間

山崎 航(やまさき わたる)さん

2016(平成28)年度3次隊・サモア・小学校教育

世界中で活動するJICA海外協力隊。2017年1月から2年間、サモアのイバ小学校に「小学校教育」隊員として派遣された山崎さんにお話を聞きました！



サモア独立国(以下、サモア)は、南太平洋の島国で、イギリス連邦加盟国です。ウポル島、サバイイ島および7つの小島から構成されており、首都はウポル島北部にあるアピアです。

(地図画像は外務省HPより)



子ども達の元気な国歌の歌声が鳴り響く。サモアの学校では朝登校すると校庭に集まって国歌を歌います。

赤道近くの常夏の島国サモア。皆さんが思い描くような南の島です。ここで私は小学校教育隊員として現地の小学校で算数と理科の授業及び改善のため派遣されました。

サモアの小学校は8時30分“頃”から始まります。“頃”というのは学校に時計はなく、鐘が全ての時を刻むのですが、そのタイミングは鐘の近くにいた先生の感覚で鳴らされるため、規則正しく鳴ることはほぼありません。授業は45分のはずですが、先生の感覚の為、時には20分、時には2時間と本当に気まぐれです。そんな感じで時間にルーズなのですが、まったりゆったりと過ぎていく時間が心地よいのです。サモアの小学校には教科書がありません。机と椅子も人数分なく床にマットを敷いて授業を受ける子ども達もちらほら。トイレは詰まって使えない。でもサモア人はみんな元気で明るくて小さいことは気にせず楽しそう。

どこに行っても“Malo”(こんにちは)と声をかけてくる。初対面だけど近い距離感。よくわからないけどバナナをくれる。家まで送ってくれる。朝ご飯食べたかと心配してくれる。そんな素朴で良い人がいっぱいのサモアの人たち。

「無いもの」もたくさんあったけど、「あるもの」もたくさんあった。そんな2年間でした。10月5日、豊田スタジアムにてラグビーワールドカップの日本vsサモア戦が開催されます。サモア代表は『MANU SAMOA』と呼ばれています。「GO! MANU!」と叫んで応援してあげてください。



朝の国歌斉唱



小学校での授業風景



ホストファミリーのみなさん

協会から助成についてのお知らせ

国際交流応援プロジェクト ～2つのサポート～

1 国際交流スタート支援 ～あなたの初めての国際交流を応援！～

募集期間：随時

- ・企画・運営などをサポートします。
- ・上限10万円で実施経費の一部を助成します。
※対象となる経費が決まっています。

一緒に最初の一步を
踏み出しませんか？



初めての国際交流



海外からの留学生との交流

2 草の根国際交流支援 ～国際交流事業を行っているあなたを応援！～

募集期間：随時

- ・上限10万円で対象経費（講師などの謝礼・交通費、会場使用料など）の1/2以内を助成します。

末長い交流をしませんか？



海外のさまざまな食で交流



世界の言語との出会い

東アジア相互交流促進事業

募集期間：随時

日本・中国・韓国の相互交流支援 ～3か国での交流を応援！～

- ・対象経費について、1事業45万円以内を助成します。
- ・対象経費は中国及び韓国からの参加者の県内における宿泊費用です。
※1人当たり1泊の費用は、朝食代を含む1万5千円が上限です。

交流の方法はさまざま！
スポーツ・文化・芸術など

協会を応援してくださる賛助会員を募集しています！

年会費 個人会員：3,000円 法人会員：10,000円

- ・賛助会員になって、長崎県の国際交流や国際協力の活動を支えたい、在住外国人の支援をしたいという方や詳細をお知りになりたい方は、是非、当協会までお気軽にお問い合わせください！

業務支援ボランティア募集中！

※詳細はホームページ (<https://www.nia.or.jp/>) 又は公式 Facebook (<https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>) で確認ください。